

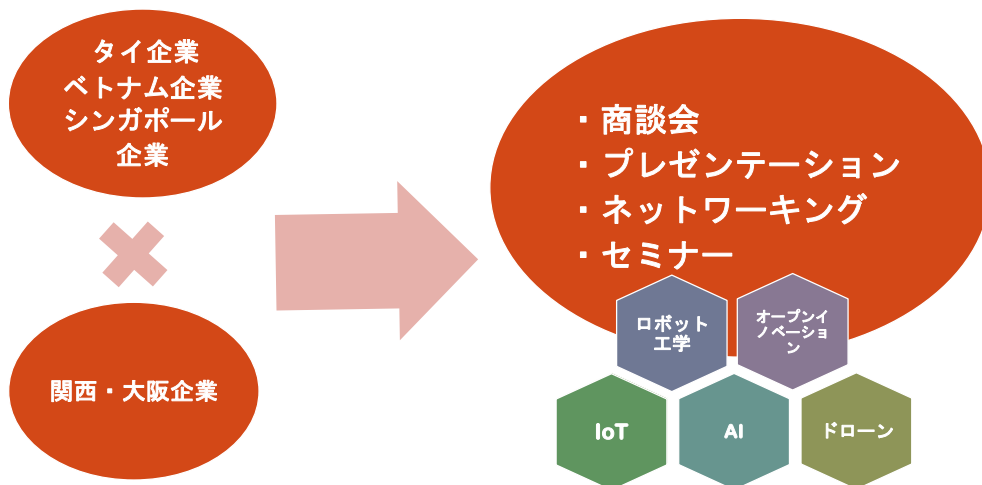
ASEAN企業とのネットワーキング/商談会



ASEAN企業とのネットワーキング/商談会

目的

ASEAN企業と日本企業が協働・連携するきっかけを作ることにより、多面展開及び2次進出にはずみをつける機会とするため



ASEAN企業とのネットワーキング/商談会

メリット

ASEAN企業と日本企業の協働による、第四次産業革命の促進、イノベーション、事業提携やOEM生産委託、ソフトウェアのオフショア開発、技術交流等が促進されること。

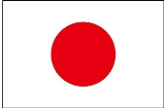


ASEAN企業

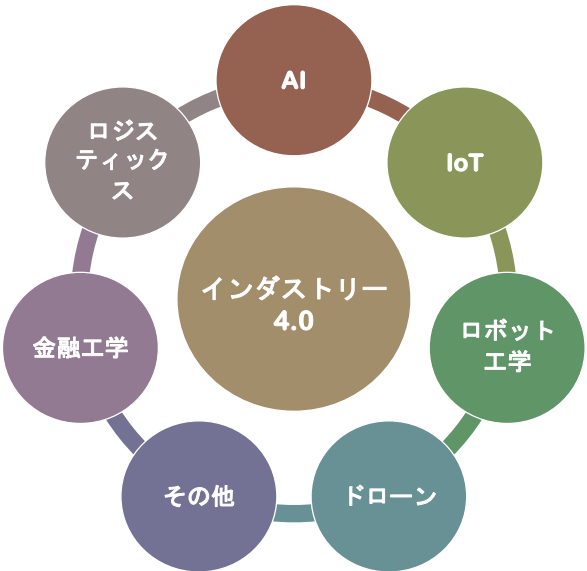
日本企業とのコラボレーションで、相互補完を行い、他国へのさらなる事業展開を可能とする機会となる。

日本企業

現地企業との協働により、アセアン域内での多面展開、及び二次進出にはずみをつける機会となる。



オープンイノベーション



なぜASEAN企業 × 大阪商工会議所なのか？

なぜASEANなのか？

2017年に**ASEAN発足50周年**を迎え、日本とASEANの経済的なつながりは緊密になり、日本企業からの関心が高い地域になっている。

日経コンピュータによると...

現在、ASEANでの先端技術を利用した企業は域内のさらなる社会成長、変化を起こすとされ、非常に注目を集めている。
政府・民間レベルでもASEAN-日本の双方への関心は高まっている。
(日本企業が発注を検討している国の中で、シンガポール、ベトナムは上位)



<大阪商工会議所 アセアン事業展開 関心企業プラットフォーム>

登録者数：154社、168名

関心国	： 1 位	ミャンマー	23.1% (77名)
	2 位	ベトナム	13.2% (44名)
	3 位	タイ	9.3% (31名)
	⋮		
	6 位	シンガポール	6.9% (23名)

なぜ大阪商工会議所なのか？

海外の優秀なベンチャー企業や海外バイヤーを招いてのプレゼン、
商談会などを実施した**経験が多数**ある。

◆国内実績

- 1990年～2007年 「世界ビジネス・コンベンション（G-BOC）」開催
- ～2006年 「グローバル・ベンチャー・フォーラム（GVF）」開催
- ～現在 メイドインジャパンを希望する海外バイヤーとの商談会開催
実施国：韓国、中国、インド、インドネシア、タイ、ベトナム、ミャンマー、UAE

◆海外実績

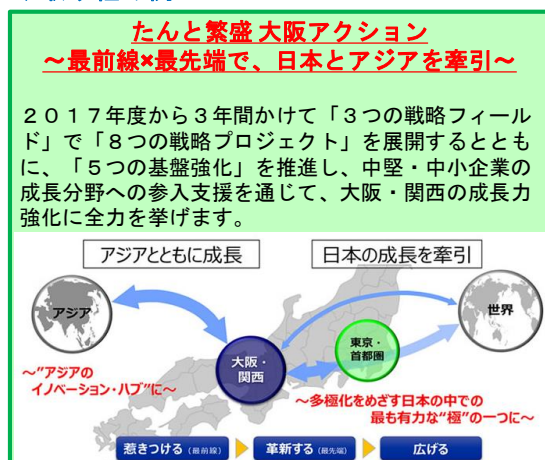
- ＜タイ＞
 - ・1960年代から50年以上に渡り、バンコクJCCへ事務局長を派遣
 - ・2015年 カシコン銀行とMOU締結
- ＜ベトナム＞
 - ・ホーチミンJBAに事務局長を派遣。TCCとも70年代から締結関係にある。
 - ・2017年 FPTコーポレーションとの協働で会頭ミッションを実施。
- ＜シンガポール＞
 - ・シンガポールJCCIに事務局長を派遣。
 - ・2017年 SMFとMOU締結



なぜ大阪商工会議所なのか？

大阪・関西を中心に大小様々な3万の企業との緊密なネットワークを
形成しており**優秀な日系企業を選定可能**

◆取り組み例



Xport（クロスポート）開設

大阪商工会議所と大阪工業大学は、都心型オープンイノベーション拠点「Xport（クロスポート）」を開設。（2018年4月）

＜事業内容＞

- 大企業や中小企業、社会人、学生など多様な参加者の交流促進や研修
- ビジネスアイデアの試作
- 海外企業との連携 等



×

大阪商工会議所 OCCCI
The Osaka Chamber of Commerce and Industry



事業概要

事業概要

- 時期：2018年10月上旬頃
- 場所：大阪商工会議所 会議室
- 主なプログラム：
 1. アセアン優良企業ビジネスプラン発表会
(想定参加業種：AI, ドローン, ビックデータ, IoT, ロボット工学など)
 2. 日本企業との商談会・ネットワーキング
 3. アセアン多面展開セミナー
例) 専門家による多面展開支援セミナー
アセアン企業による会社紹介 など

事業概要

- 共 催：大阪商工会議所, シンガポール製造業連盟, カシコン銀行, DIPT, ベトナム FPTグループ, Industrial Scholar Center
- 協 力(仮)：シンガポール総領事館, タイ総領事館, ベトナム総領事館, シンガポール商工会議所, タイ商工会議所, ベトナム商工会議所, BOI, SATRA, シンガポール大使館, タイ大使館, ベトナム大使館
- 想定参加人数：100社（日本企業の役職員, 技術者, 研究者, 等）
- 通 訳：逐次通訳 (英語-日本語, タイ語-日本語, ベトナム語-日本語)



全体スケジュール（概要）

日付	時間	プログラム	ターゲット	会場
10月●日		関係者チェックイン		シティプラザ大阪
10月●日	10:00～11:30	行程説明、フリーフィング (大商、O-BIC、関西経済等)	ASEAN 参加者	大阪商工会議所 会議室
	13:00～14:30	アセアン多面展開セミナー (2部構成)	日本企業	大阪商工会議所 会議室
	14:30～18:00 14:30～16:00発表 (1社あたり15分) 16:00～17:00商談 (1社あたり15分弱) 17:00～18:00交流会	ビジネスプラン発表会 *発表と商談は同時平行 *商談終了後に参加者同士によるネット ワーキング(軽食付き)	ASEAN 参加者 & 日本企業	大阪商工会議所 会議室
	18:30～20:30	関係者夕食会	ASEAN 参加者	がんこ／大起水産 等
	10:00～12:30	拠点視察または企業訪問	ASEAN 参加者	大阪工業大学 梅田キャンパス または 在阪企業 等
10月●日	14:00～16:00	観光など	ASEAN 参加者	大阪企業家ミュージアム 等
	3日目午前	チェックアウト	ASEAN 参加者	シティプラザ大阪

費用負担

大阪商工会議所から費用を負担致します。

大阪までの交通費



*原則最寄り空港-間空間のエコノミー

*精算は円建て

*基本的には1社につき1名

会期中の宿泊費

*本所が指定



会期中の交通費

会期中の食費



プログラム内での 通訳費用

*言語：英語、タイ語、ベトナム語

セミナー・商談会 のアレンジ

スケジュール

- 4 月 企画取りまとめ
- 5 月 関係先への協力依頼 開始
- 6 月初旬 大商から現地訪問、打合せ【海外出張】
- 7 月 現地関係先企業募集（～8月頃）
- 8 月初旬 大阪側参加企業募集開始(商談会マッチング開始)
- 9 月下旬 マッチング完了～スケジュール表の送付
- 10 月初旬 イベント実施
- 11 月 各地との連絡調整(来年度に向けての打ち合わせ)

APPENDIX



Why OCCI?

- ・ 大商では、今まで海外の優秀なベンチャー企業を招いてのプレゼン、商談会、及び海外のバイヤーを招いての在阪企業との商談会を実施した経験が多数。

- ・ 1990年より、17年に渡り、商談会「世界ビジネス・コンベンション（G-BOC）」を開催。最終年度の2002年には、398人の外国の企業幹部らが来日し、136ブース規模で1401件の商談。
- ・ 国内外のITベンチャー企業が集う国際商談会「グローバル・ベンチャー・フォーラム（GVF）」を2006年まで開催。最終年度には122件の商談。
- ・ 近年では、メイドインジャパンの商品を希望する海外バイヤーとの商談会を毎年実施。韓国、中国、インド、インドネシア、タイ、ベトナム、ミャンマー、UAEなどからバイヤー企業を招き、合計650件を超える商談の場を提供。2017年にはUAE、サウジアラビアとタイ、ベトナムよりバイヤー企業合計11社が来日、177件の商談。

- ・ 大阪・関西を中心に大小様々な3万の企業との緊密なネットワークを形成しており、優秀な日系企業を選定可能。
- ・ SMFは2017年にOCCIとMOUを結び、締結後初の具体的な事業展開として実施。
- ・ カシコン銀行は2015年にOCCIとMOU結び、さらなる事業展開として実施。
- ・ FPTコーポレーションとOCCIは関係が深まっている中、初の協働事業として実施。

*2017年「シンガポール・ベトナム経済視察団(会頭ミッション)」のフォローアップ事業として、また、具体的なBtoBのビジネス支援の手段としても位置づけている。

